

培養肉、細胞培養食品

家畜を肥育・と畜により肉としてきた従来の方法と異なり、動物の細胞を体外で培養して得る肉や食品のこと。細胞性食品（動物細胞 100%でできたもの）やその加工食品（増やした動物細胞のほか、既存の食品・食品添加物が原料に含まれているもの）の俗称。メディア等が使用することが多く、海外では、“**Cultivated meat**”、“**Cultured meat**”、“**Cell-based meat**”などとされている。”これらを和訳した用語にあたる。

類義語として「細胞性食品」や「細胞培養食品」等があるが、フードテック官民協議会 細胞農業ワーキングチーム (WT) における有識者会議は、一般報道や対消費者へのコミュニケーションに関わる場合、「培養」あるいは「細胞培養」の使用を避けたほうが良いとの見解を示している。その背景として、「養殖魚」との混同リスクが「細胞性」と比較して約 19~25%ほど高い点や、発酵食品等の伝統的な食品業界との混同を避けるためという点が指摘された（詳細は「細胞性食品」の定義を参照）。

(吉富愛望アビガイル)